

内閣府
特命担当大臣表彰
奨励賞

徳島県推薦

社会福祉法人悠林舎 障害者支援施設シーズ

(徳島県阿南市)

【概要】

- 社会福祉法人悠林舎障害者支援施設シーズは、2001年の開所時よりアート活動を開始。2016年に東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、スポーツでは参加できない知的障害者も、その個性を文化面において活かすことで、生きがいつくり、自立の第一歩につながるのではないかと考え、年に1度のペースでアート展を開催。『プラット・アート・プロジェクト』という名称で活動している。



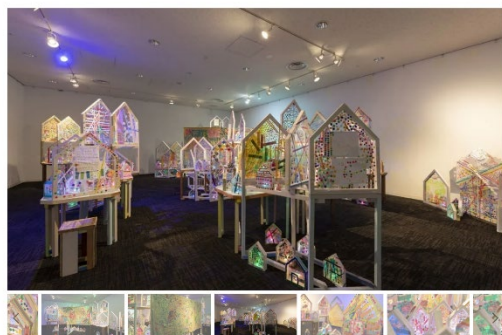
アート活動の様子

【功績・功労】

- 施設を利用する知的障害者が集団で創作したアート作品による徳島県立近代美術館での展覧会など、施設外での出展を始め、やがて県内各所で学生ほか県民とアートを通じた交流をするワークショップ開催に発展、これら活動がメディアに露出することにより支援の輪、他のイベントへの呼びかけが増加した。
- 施設外との交流を通じて、アーティスト森太三氏が施設の取組に参画、様々なアート創作方法を企画するなどの協力により、知的障害者ならではの感性が表現される創作活動が加速した。

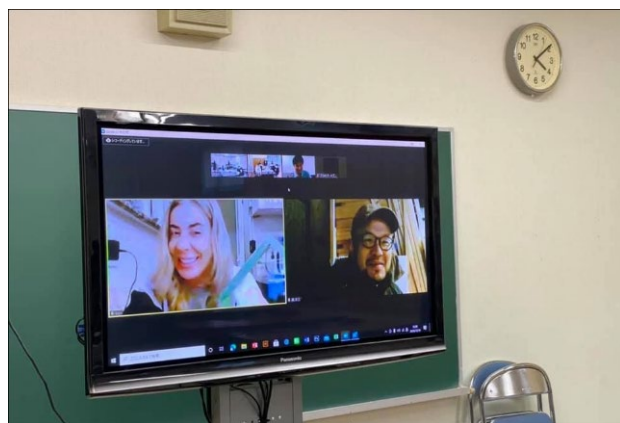
- 2020年、障害の有無に関わらず、県外、海外からも参加できるオンラインアート展示会を開催し、車いす目線のコンテンツを配信した。

ウェブ展覧会
PHOTO GALLERY



オンラインアート展示会

- ラグビーワールドカップをきっかけに、徳島県がジョージア国の共生社会ホストタウンとなったことを契機に、同国とのオンラインワークショップを開催し、トビリシ自由大学の学生と徳島県内の学生が交流できる機会を提供した。2025年大阪・関西万博に向けて、徳島県が実施する「とくしま魅力発信チャレンジ事業」にも参加し、更に国際交流を促進する。



オンラインワークショップの様子

- 障害者福祉、知的障害者の生きがいがいづくりにとどまらず、外部との連携、徳島県の国際交流にも貢献するなど、活発な活動を展開している。

